

英語

【はじめに】

○ 英語を学ぶ意義

英語が理解できるようになり、英語で表現できるようになると、大学入試で結果が出るだけでなく、その後の勉強・研究や、将来の仕事など、様々な面で大きなメリットがあります。世界的な規模で考えると、多くの情報は英語で発信されています。目的に合った知識や情報をより多く得るために、英語力は必須の技能であると言えます。

しかし、英語に限らず外国語を学ぶ意義は、それ以外にもあります。それは、「日本語で考えることしかしてこなかった頭に別の視点が加わる」ということです。人間はことばによってものを考え、ものの捉え方はことばに反映されます。日本語と外国語では、文の構造や文章の組み立て方が異なるので、別の言語を学ぶことで、より幅広いものの見方や思考ができるようになります。また、日本語と外国語には似ている点も多くあります。それは私たち日本人とその言語を母語とする人々が共有している、さらに言えば人間が固有に備えている、能力やものの捉え方の反映であるとも言えます。外国語を知ることとは、広く人間を理解することにもつながるのです。

○ 英語は2年生で一旦完成させる科目

授業で系統的に英語を学ぶのは2年生まで。3年生の授業は問題集等を使った演習が中心となります。入試基礎レベルの単語熟語や文法語法は、2年生までに習得することを目指しましょう。

様々なジャンルの英語の文章の内容が理解でき、日常的な話題についてまとまった内容を英語で表現できるレベル（＝大学入試で求められる英語力、＝将来役に立つ英語力）まで到達するのは、決してたやすいことではありませんが、日々の授業と家庭学習にコツコツ取り組んでいくことで、やがてその力が身についてきます。一日一日を大切に、頑張ってください。

1年次

【高校英語の基礎固めと学習方法の確立】

- ・単語熟語（共通テストレベルまで）
- ・文法（高校の学習内容に一通り触れる）
- ・リーディング（精読・速読）
- ・リスニング（概要の把握、note-takingの練習）
- ・表現（基本英文の暗記と活用）

2年次

【受験の基礎（＝共通テストレベル）の確立】

- ・単語熟語（教科書等各使用教材を活用した語彙力の増強）
- ・文法（教科書、自学用教材による、1年次の学習内容の補強）
- ・リーディング（教科書・問題集等を使った精読・速読。入試基本レベルまで）
- ・リスニング（リスニング教材、教科書による基礎力強化）
- ・表現（和文英訳やパラグラフライティングの練習）

3年次

【難関入試レベルに対応する力の養成】

- ・問題集を使った演習中心

2. 英語力向上のポイント

○ 家庭学習の大切さ

英語の学習がうまく行くかどうかは、家庭での予習復習にかかっています。授業は、「家で予習してきたことを確認し理解を深める場」、「家で復習するための材料が提供される場」であると心得てください。予習の重要性は今さら言うまでもありませんが、2年次は復習にもよりしっかり取り組む姿勢が必要です。授業中しっかりメモを取り、早いうちに一度復習することが大切です。テスト前に詰め込むだけでは定着しません。実力をつけるためには、復習も欠かすことができないのです。(具体的な予習復習のやり方は、科目ごとの説明のところを参照)

2年生になると英語の授業が週5時間になりますが、学ぶべきことは1年生の頃よりもむしろ増えるので、授業で扱わない**自習用の課題の量が多くなります**。毎週の小テストの勉強や提出課題にも地道に取り組んで下さい。英語だけで1日80～90分の家庭学習を要するはずです。より高い英語力を身につけるには、より多くの英語に触れることが重要です。

○ 暗記と音読の習慣化

英語力を伸ばすためには、理解したことをそのつど覚えることに、多くのエネルギーを注がなければなりません。毎日少しずつでも欠かすことなく覚える努力を積み重ねてください。

また英語力全般を伸ばすのに、効果的なのが**音読**です。教材付属のCDやアプリ等を活用して、家庭でも音読することを心がけてください。

○ 語彙力の増強

語彙力(知っていて使える単語や熟語の数)を増やすには、まず各教材に出てきた単語熟語を覚えることが基本です。それを単語集で確認し、補強していくのです。

基本的な語彙力を2年生の早い時期に確立しましょう。

○ 長文への取り組み

大学入試対策においては、長文の読解力を身につけることがもっとも重視しなければならない課題です。限られた時間の中で、長文(標準的なもので550～600語レベル)をできるだけ速く読み進め、文章の主旨、その他求められる情報を的確に読み取らなければなりません。

読解力を身につけるには、語彙力、文構造をとらえる力(文法・構文の力)の他、文章の内容を推測する力が必要です。予習では辞書をこまめに引いて徹底的に下調べをすることが求められますが、その前に辞書の助けを借りずに文章の意味を推測しながら読む練習をしましょう。また文章に書かれている内容の背景知識があると、読解の大きな助けになります。英文のテーマは多岐に渡るので、他のどの教科もしっかり学び、幅広い知識を身につけておくこと。

また、速読練習を定期的に行います。継続して練習することで力がつきます。毎回集中して取り組んでください。

○ 試験の振り返り

試験の振り返りノートを作って、模試や定期テストの復習をちゃんと行っていますか。模試は何点取れたかより、やり直しをすることの方にずっと利用価値があります。模試は最も効果のある問題集であると言えます。必ず間違えたところをしっかりとやり直すことが実力アップにつながります。

3. 2年生で学習する科目

英語コミュニケーションⅡ（4単位）

○ 予 習

1. まずは辞書なしでセクション全体を読み、どんな内容かを大まかにつかむ。

★ 初めから辞書を引いては、読む力が身につかない。わからない単語があっても、最初はできるだけ前後関係から推測すること。

2. 次に、文構造（SVなど…）に注意して、一文ずつ意味を考える。

わからない単語は辞書を引いて、つづり、品詞、意味などをノートにまとめる。

★ ただ日本語に置き換えればいいのではない。どういうことを言っているのか、筆者の意図を読み取ること。予習ノートを上手に活用しよう。

○ 復 習

1. ノート、授業中のメモを見て、ポイント（単語、熟語、文構造、文法事項など）を確認する。適宜、辞書や文法書を参照する。

★ 授業があったその日に（遅くとも次の日に）やる。

2. 意味を考えながら、本文を何度も音読する。

★ 本文を覚えるつもりで、何度も何度も読む。（一人で、あるいは音声と一緒に）文字を見ないで、音声を聞きながら本文の意味を考えるのもよい。

論 理 表 現 Ⅱ（2単位）

○ 予 習

1. テキストの基本例文を参照し、問題をノートにやる。
2. 穴埋めや並べ替えの問題は、問題の答えとなる部分だけではなく、必ず英文全体を書くこと。
3. 文法事項のあやふやな点は、参考書の該当箇所を読むなどして確認する。
4. 自由英作文の問題も、モデルの英文、巻末の解答例や語句リスト、辞書を参考に、自分で書いてみる。

○ 復 習

1. ノート、授業中のメモを見て、授業内容を復習する。間違えた問題はもちろん、授業のポイントをしっかり見直して理解する。
2. 基本例文は、その例文のポイントをしっかり意識し、日本語→英語にできるようにする。

【観点別評価の方法】

原則として以下の「評価の観点」に従い、定期テスト・小テスト等の得点・宿題・課題等の提出物の評価・授業への出席状況・授業態度を鑑みて総合的に判断し、成績を出します。

観点1 知識・技能の習得（体系化、汎用性）

外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。

観点2 思考力・判断力・表現力の育成（思考力、判断力、表現力）

場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを

活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。

観点3 主体的に学習に取り組む態度（実践力、協働力）

他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

【教材】英語コミュニケーションⅡ

Heartening English Communication II（桐原書店）

Heartening English Communication II 学習ノート（桐原書店）

Heartening English Communication II 4技能学習 Navi ブック（桐原書店）

『英単語ターゲット1900』（旺文社）

総合問題集 *CROSSBEAM Standard 2*（エミル出版）

The history of OKINAWA（エミル出版）

NEWSBREAKS Standard（エミル出版）

【教材】論理表現Ⅱ

CROWN Logic and Expression II（三省堂）

Power Stage 英文法・語法問題 New Edition（桐原書店）

Power Stage 英文法・語法問題 New Edition TRAINING BOOK Standard（桐原書店）

Focus on Listening Standard CD付（エミル出版）